

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	長野工業高等専門学校
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナガノコウギョウコウトウセンモンガッコウ
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立高等専門学校
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	実務訓練(キャリア演習)
	学部・研究科等名	本科
	担当教職員名・役職	押田京一・教授(教務主事) 中山英俊・准教授(教務主事補・実務訓練担当) 小林裕介・准教授(4年担任) 春日貴志・准教授(4年担任) 堀口勝三・教授(4年担任) 伊藤祥一・准教授(4年担任) 轟 直希・准教授(4年担任) 齊藤大起・学生課教務係主任
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	206
	受入企業等数	146
受入企業等名	丸文通商株式会社株式会社飯沼ゲージ製作所パナソニック株式会社オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社日信工業株式会社株式会社羽生田鉄工所有限会社サンライズ株式会社前田製作所長野電子工業株式会社株式会社しなの富士通長野オリンパス株式会社NiKKi Fron株式会社上田日本無線株式会社アルバックテクノ株式会社シキボウ株式会社株式会社テレビ信州株式会社中嶋製作所株式会社キッツオリオン機械株式会社シチズン時計マニユファクチャリング株式会社	
インターンシップの分類	3.海外インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業における業務の従事、課題の解決等を体験することなどの就業体験を行っている。インターンシップ体験前に企業の担当者との事前打合せを行い、目的の共有を図るとともに、その目的に即して社員の基幹的・補助的業務の一部を経験することや、自社の課題解決に取り組む体験を行っている。最後に、インターンシップでの取り組み内容や成果等について、担当者や役員等に対してプレゼンテーションを行っている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	本科4年次、本科1~5年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1~2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本科4年次の夏季休業期間中に、原則として全員が必修選択科目1~2単位として実施している。また、低学年から選択科目のキャリア演習(1~8単位)を設け、低学年からの段階的なインターンシップの充実を図れる主体的な教育課程としている。特に専門教育とのつながりをより明確にして学修を深化させることや、インターンシップを通じて高い就業意識と職業観を明確化させることを目的とし、シラバス等にも明記している。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	4月に、インターンシップの実施目的や教育的効果を説明するガイダンスと、一部企業等による企業説明会を実施し、企業の概要やインターンシップの内容を紹介している。5～6月に、インターンシップの心構え、社会人マナーや守秘義務の遵守などの基礎的内容を理解させるための研修会を開催している。インターンシップ実施までに、学生・企業等による事前打合せを実施し、実施内容のすり合わせを行い、報告させている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ後にレポートを提出させ、到達目標および達成度や、インターンシップを通して得られたことなどのインターンシップ内容の振り返りを実施させている。また、報告会を実施しており、全体報告会ではインターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている。学内報告会ではインターンシップ体験学生が集まり、その成果を発表するとともに受入企業からご意見等をいただいている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中に、教員が企業等訪問を行い、学生および企業等担当者と面談を実施している。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前に各自、インターンシップを通じた到達目標を企業の担当者ととも設定してもらい、それを踏まえたインターンシップを実施している。さらに終了後はレポートを提出させ、到達目標および達成度や、インターンシップを通して得られたことなどを確認している。報告会を実施し、インターンシップの成果について確認している。アンケートを行い、学生の状況把握(どのような意識の変化があったのか等)を試みている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間または10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	原則として、実施期間5日間または10日間以上として、受入れ企業等を募り、実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	

	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前の企業説明会では、企業等担当者が学生に直接説明する機会を設けている。事後の報告会に企業等担当者も参加し、代表学生の発表に対してコメント等をいただいている。企業等と学校側との情報交換の場を設け、双方の要望等を交換し、インターンシッププログラムの設計に協働して取り組んでいる。企業等から学生の評価シートを提出してもらい、成績評価に加味している。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.nagano-nct.ac.jp/career/intern/index.php
問い合わせ先	大学等名	長野工業高等専門学校
	担当部署名	学生課教務係
	担当者役職名	主任(実務訓練担当)
	担当者氏名	齊藤大起
	電話番号	026-295-7362
	メールアドレス	internship@nagano-nct.ac.jp